

衛星通信車（トラックタイプ）

設営スペース

設営人員

設営時間

必要資格

3.5×6m

2人

30分

準中型自動車免許

機械の機能

衛星通信車は、有線や地上波無線による通信手段が確保できない災害現場等に設置し、衛星通信を利用して現地との情報共有（映像、電話、電子メールなどの送受信）を行うための災害対策車両です。

車両には、衛星通信装置のほか、発電機やカメラなどを搭載しています。



現地設営条件

- ◎ 幅4m以上の砂利等で整地された進入路が必要です。
- ◎ 設営スペースとして幅3.5m×長さ6m程度が必要です。
- ◎ アンテナを設置するため、車体の直上部には障害物がない場所が必要です。
- ◎ 通信可能状態までには、作業員2名で30分程度の時間が必要です。
- ◎ 本車両の設営に補助機械等は必要ありません。
- ◎ 車両の運転には「準中型自動車免許」が必要です。
- ◎ 通信を行う場合、免許等は不要です。
- ◎ 1給油当たりの連続運転時間は約24時間です。
- ◎ 南側、仰角40度以上が見通せる場所が必要です。

機械の諸元

| 主要諸元 | 主要機能 | 主要装備品 |
|------------------------------------|---------|--|
| 乗車定員 3名 | 衛星通信装置 | 32kbps～2,048kbpsのIP伝送 (準動画、音声、FAX、電子メール等) |
| 車両寸法 全長5,610mm×全幅2,110mm×全高3,050mm | 情報収集装置 | カメラ、マイク、電話機、FAX |
| 車両総重量 6,035kg | 映像モニタ装置 | 9inchカラーモニタ2台、BD、DVD、HDDレコーダ |
| 駆動方式 総輪駆動 | 発動発電機 | 単相100V 60Hz 11kVA 軽油（タンクは車体と共用） |
| 燃料 車両本体：軽油 100L | その他 | 車体安定ジャッキ、サイドオーニング |

※主要諸元は新潟防災センター配備の車両

車両外形図

